

府民にわかりやすい行動目標について

<設定事例>

1 府民の取組

- 家庭での取組
- マイカーにおける取組 等

2 事業者の取組

- 製造業の取組
- 運輸業の取組
- 民生業務系の取組
 - ・オフィス、病院、学校、ホテル別の取組
 - ・卸小売、飲食店における取組 等

3 観光旅行者の取組

- ・宿泊先での取組
- ・観光先での取組
- ・移動における取組 等

イ 目標を達成するためのモデルケース

家庭内において全てのエネルギーを10%削減するという事は、10日に1日電気を全く使わないことに相当します。これは、1月に3日、1年に1ヶ月以上エネルギーを全く使わないこととなります。

また、エネルギー種別にみると、それぞれの削減量は次のような量にほぼ相当します。

○電気の削減量455 kWh は、1日4時間視聴していたテレビ（28インチ）を1年間全く視聴しない電気消費量

○ガスの削減量40 m³ は、1日3分使用していたシャワー（45℃設定）を1年間全く使用しないガス消費量

○灯油の削減量13 Lは、1日1時間使用していた石油ファンヒーター（20℃設定）を1年間全く使用しない灯油消費量

実際の生活では、個人によって生活スタイルやエネルギーの使い方は異なるので、このような省エネ行動を一律に実践することは不可能です。そこで、省エネ行動を特定の項目に偏ることなく、それほど無理せずに、いろいろな省エネ行動メニューの中から、取り組みやすいものを選択して実践することが重要です。

下記の省エネ行動を実践することで、次のような削減効果が得られ、エネルギー種別及び二酸化炭素排出量の削減目標を達成することができます。

○電気：505 kWh ○ガス：42 m³ ○灯油：16 L

○排出量：295 kg-CO₂ ○節約：16,600円

場面	行動項目	1日の省エネ行動	年間節減量	年間削減量 (kg-CO ₂)	年間節約額
リビング	1 暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定をしている。	エアコンの冷房温度を 1℃高く する	30.24kWh	10.28	700円
		エアコンの暖房温度を 1℃低く する	53.08kWh	18.05	1,200円
		ガスファンヒーターの暖房温度を 1℃低く する	8.15m ³	15.97	1,200円
	3 冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしないように気を付けている。	エアコンの冷房運転を 1時間短く する。	30.24kWh	10.28	400円
		エアコンの暖房運転を 1時間短く する。	53.08kWh	18.05	900円
		ガスファンヒーターの暖房運転を 1時間短く する。	12.68m ³	24.85	2,000円
5 人のいない部屋の照明は、こまめな消灯に心がけている。	石油ファンヒーターの暖房運転を 1時間短く する。	15.91L	39.62	900円	
	蛍光灯を 1時間消灯 する	4.38kWh	1.49	100円	
6 テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにしている。	テレビの視聴時間を 1時間短く する	111.90kWh	38.05	900円	
キッチン	9 洗いのものをする時は、給湯器は温度設定を出来るだけ低くするようにしている。	給湯器の温度設定を 2℃低く する	8.80m ³	17.25	1,300円
	10 冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓に気を付けている。	冷蔵庫内に物を 詰め込みすぎない	43.84kWh	14.91	1,000円
	12 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くするように気を付けている。	冷蔵庫の扉の 開閉回数を減らす	32.48kWh	11.04	400円
	14 電気ポットは長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜くようにしている。	電気ポットの保温時間を できるだけ短く する	107.45kWh	36.53	2,400円
浴室・洗面所	17 シャワーはお湯を流しっぱなしにしないように気を付けている。	シャワーの使用時間を 1分短く する	12.78m ³	25.05	2,400円
	18 温水洗浄便座は温度設定をこまめに調節し、使わない時はふたを閉めるようにしている。	温水便座の ふたを閉める	38.00kWh	12.92	800円
合計			—	294.34	16,600円

(2) マイカーにおける取組

マイカーにおいても、家庭での取組と同様に10%の削減目標を掲げ、自動車使用の自粛やエコドライブ等の取組を実践することが重要です。

マイカーにおいて、2002年度から約10%のガソリン消費の削減

マイカーにおいて10%のガソリン消費は63Lに相当し、燃費を約11.7km/Lとすると737km走行することに相当します。二酸化炭素に換算すると、147kg-CO₂になります。

また、下記の省エネ行動を実践することで、次のような削減効果が得られ、ガソリン及び二酸化炭素排出量の削減目標を達成することができます。

○ガソリン：64L

○排出量：148kg-CO₂

○節約：4,110円

場面	行動項目	エコドライブ等の実践	年間節減量	年間削減量 (kg-CO ₂)	年間節約額	
車	19	アイドリングはできる限りしないように気を付けている。	アイドリングストップを 1日3分 実施する	9.78L	22.69	1,140円
	20	無駄な荷物を積んだまま運転しないように気を付けている。	不必要な荷物を載せて走らない	1.50L	3.48	200円
	21	経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないように気を付けている。	急発進、急加速を 1日3回 やめる	16.80L	38.98	1,920円
	22	タイヤの空気圧は適正に保つように心がけている。	タイヤの空気圧を適正に保つ	7.50L	17.40	850円
	23	外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用するようにしている。	自動車走行距離の 5% 相当分を公共交通機関に切り替える	28.30L	65.66	—
合計			63.88	148.21	4,110円	

2 事業者（製造業）の取組

(1) 現況の排出実態

2002 年度の中小製造事業者*の 1 事業所当たりのエネルギー消費量及び排出量は以下のとおりです。 ※エネルギー管理指定工場以外の製造事業者をさす。

区 分	2002 年度実績	削減量
電気消費量	kWh	kWh
都市ガス消費量	m ³	m ³
その他燃料（原油換算）	kL	kL
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	t-CO ₂

(2) 取組内容

- ①照明の省エネ
- ②ボイラーの省エネ運転
- ③工業炉・冷凍機等の省エネ運転の実施
- ④省エネ型送風機の導入やダクトの省エネ化
- ⑤ポンプ・配管の省エネ化
- ⑥廃熱回収の実施
- ⑦エンジンの省エネ化
- ⑧電動機の省エネ化
- ⑨受電設備・配電設備の省エネ化
- ⑩コージェネレーション等新エネルギーの導入
- ⑪管理体制

(3) 目標を達成するためのモデルケース

以下に削減量を達成するための一例を示します。

削減メニュー	削減量			
	電気	都市ガス	その他	二酸化炭素
○事務所等におけるエコオフィスの実践 ・昼休みの照明、不要な照明 ・冷暖房温度の設定 ・パソコン等のスイッチ管理				
○高効率照明の導入				
○ボイラーの空気比の管理				
↓				
合 計				

3 事業者（民生業務系）の取組

(1) 現況の排出実態

2002年度の民生業務系の1事業所当たりのエネルギー消費量及び排出量は以下のとおりです。

区 分	2002年度実績	削減量
電気消費量	kWh	kWh
都市ガス消費量	m ³	m ³
プロパンガス	t	t
その他燃料（原油換算）	kL	kL
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	t-CO ₂

(2) 取組内容

- ①照明の省エネ
- ②エアコンの省エネ運転
- ③省エネ型空調機の導入
- ④省エネ型送風機の導入やダクトの省エネ化
- ⑤ポンプ・配管の省エネ化
- ⑥省エネ型受電設備の導入
- ⑦省エネ型エレベータの導入
- ⑧自動販売機の省エネ
- ⑨エコドライブの推進
- ⑩管理体制

(3) 目標を達成するためのモデルケース

以下に削減量を達成するための一例を示します。

削減メニュー	削減量			
	電気	都市ガス	その他	二酸化炭素
○エコオフィスの実践 ・昼休みの照明、不要な照明 ・冷暖房温度の設定 ・パソコン等のスイッチ管理				
○蓄熱式空調システムの導入				
○エレベータの効率運転				
↓				
合 計				